

これだけあるぞ！ ダンスのジャンル

ロックダンスを武器にするチームが多いです。ロックダンスの始祖的なダンサーであるTONY GO GO氏が日本に移住したこともあり、日本では特にポピュラーなジャンルで、その息子たちのGO GO BROTHERSはその血筋を受けた素晴らしいダンサー



▲ロックダンスは動きやカタチが明確なので取り組みやすい。

■ロックダンス

ORFEDがメディアでも活躍中。ぜひ動画検索してその動きを確認してみましょう。

ロックン、ロッキング (LOOKING) と呼ばれ、音楽のROCKとはスペルが異なり、関連性はありません。「ミカルで素早い動きから急に身体に鍵をかけたように止まる」(ROCK)ことから、そう呼ばれるようになりました。ソウルダンスを源流に持ち、ジェームス・ブラウンなどのテンポの速いファンク・ミュージックが合います。踊りに決まった形が多いため、初心者でも取り組みやすく、全国の強豪ダンス部は

■ポップダンス

ポッピング、ポッピング (POPPING) とも呼ばれる。強いビートに合わせて「パチーパチー」と身体をハジいていくダンスです。マリオネット (操り人形) やロボットのようない機械的な動きから、当時はロボットダンスとも呼ばれました。この動きを発展させたのが、クレイアニメ (粘土人形をコマ撮りした動画



▲求道的に技を鍛えていくポップダンスは日本人向け？

手法) の不思議な動きを模した「アニメーション」。また、身体の前で腕の形を次々に組み替えていくダンス部得意の「タット (キングタット)」や、マイケル・ジャクソンでおなじみの「ムーンウォーク」などもポップダンスから派生したものだと言われています。上達には、何回もポップ/ヒット/ウェーブをくり返し、細かい筋肉を鍛え、コツをつかんでいきます。ダンス部が取り組むには、専門的な指導と練習が必要でしょう。

日本のポップダンサーでは、KITE & MADOKAのフォーマーアクションや、FISHBOYが最近の人気者で、アニメーションダンスでは、黄帝心仙人やWORLD